

北海道合気道連盟

HOKKAIDO AIKIDO FEDERATION

令和六年
新春号
Vol.2

- ◆ 発行日：令和6年1月3日(木)
- ◆ 発行：北海道合気道連盟 〒047-0266 北海道小樽市張碓町560-24
電話& FAX：0134-55-5886
Email：aikido.hariusu-dojo@ab.auone-net.jp
- ◆ 発行人：尾崎 响 ◆ 編集責任者：佐藤 圭史 ◆ 事務局：五十嵐 隆行



会長
尾崎 响
合気道オホーツク
中湧別道場

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新しい年を御家族の皆様と一緒に、お健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。お蔭様をもちまして北海道合気道連盟も、大過なく新年を迎える事が出来ました。これもひとえに合気道道主・植芝守央先生はじめ(公財)合気会の役員の皆様、師範の皆様ご指導があったからであります。心から厚く感謝申し上げます。また、各加盟団体の皆様には日頃より連盟の活動にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

今年も北海道合気道連盟は組織の充実と強化に取り組んでまいります。同時に各団体と連携して、積極的に地域における合気道の普及、発展のお手伝いをさせていただきたいと考えております。

特に令和七年に北海道合気道連盟が創立六十周年を迎えます。記念誌の発行、演武大会の開催など、取り組まなければならぬ案件が山積しています。

年頭にあたりまして(公財)合気会の益々の御発展と、加盟団体の皆様の御活躍を心からご祈念申し上げますと共に、本年も変わらぬご指導を賜りますよう心からお願ひ申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



理事長
佐藤 圭史
岩見沢合気道会

昨年六月より本連盟理事長として連盟

業務に携わって参りました。その過程で、連盟業務の改善・改革を念頭に様々な企画を提案、そして実施させて頂きました。一年半の期間に、財政赤字体質の改善、連盟業務の分散化・効率化、青少年を対象とした新規イベントの立案・実施などを中心に進めて参りました。ただ、これら、目につくところも重要ではありませんが、目に見えづらいところ、すなわち長期的に見た漸次的変化・改善というのはさらに重要であると考えています。莊子に、「是故丘山積卑而為高、江河合水而為大、大人合井而為公。」の一文があります。この前半部分は「丘山は卑きを積み高きを為し、江河は小を合して大を為す。」とあり、現代語的にすれば「低い土が積み重なり小高い丘を形成し、小さい川の流れが合わさり大河を形成する」ということです。この前半部分が、後半の「しつかりとした人物は、様々な考えや立場を調和させ、包摂することができるといふ文へとつながります。短期的には難しくとも、長期的にみて実現可能で、その結果としての理想的・融和的な環境が本連盟に形成されればと願っております。



事務局長
五十嵐 隆行
合気道張碓道場

令和四年度より理事・事務局長を務め

させていただいている五十嵐隆行です。長年連盟の運営を担っていただいた諸先生方の土台を守りつつも、新執行部として課題の改革にも取り組んでいます。その中で、「事務局長の職務とは何であろうか?」と自答してみます。自分の使命は、「連盟運営のプラットフォーム(あらゆる物事をつなぐ基盤)であること」と考えます。具体的に取り組んでいることを挙げさせていただきます。

- ① 会長の経験とお力をお借りし運営に活かすこと。
- ② 理事長の改革方針を理解し、伴走者としてサポートすること。
- ③ 理事の皆様とのスピーディな連絡・協力体制を取ること。
- ④ 各団体の評議員の皆様と、情報や意見交換を円滑に行う体制と場を作ること。
- ⑤ 合気会本部道場の情報とご指導を充分享受できるように進めること。
- ⑥ スポーツ協会や対外団体との連絡の窓口であること。
- ⑦ 連盟会計の明確化・安定化を図ること。

合気道という武道においては、各団体の皆様の日頃の稽古と活動が何よりも大切です。連盟としてできることは微力かもしれませんが、皆様にとって「連盟に加盟して良かった」と思っていただける機会を少しでも作っていただければ幸いです。



合気道滝川道場 目黒 久雄

今年度はコロナの影響も少なく、道場の平常運用ができた事、うれしく思っています。喫緊の課題としては、やはり会員の拡充でして、現状は十年来のベテラン会員でコロナ過は成り立っていましたが、連盟作成のポスターを近隣の温泉施設や市役所ロビーに掲示をしていただいたので、会員加入につながることを期待しています。また、合宿も復活させたく、一層の活動ができますよう、会員、連盟の皆様、来年も宜しくお願い申し上げます。



合気道神武錬成塾札幌教室 芳賀 信治

一人でも多くの人に合気道を広めることを目標に、稽古を続けることが出来る環境と、共に稽古させて頂く合気道関係者の方々に感謝し、日々の稽古に精進してまいります。

合掌



合気道札幌研武会 榎 道夫

令和六年は辰年。竜神様に縁のある合気道の大きな発展の年であると想定されます。当会は、少数精鋭で稽古を積み重ねておりますが、これを機に道友の加入に努めたいと思っております。

また、高齢者の健康寿命の進展のため合気道の準備体操や相対動作等を活用し、てゆきたいと考えております。



合気道釧路道場 大友 学

あけましておめでとうございます。昨年までのコロナ禍で、二道場の努力だけではどうしても大きな波に翻弄され、稽古に参加できずに去る会員もいました。それでも当道場を十年、二十年先まで残していくために、やることは弛まず合気道に精進する事と考えます。与えられたものを受け継ぐだけでなく見直す姿勢も大切にして皆さまと一緒に頑張りたいと思います。



合気道オホーツク中湧別道場 尾崎 响

新年明けましておめでとうございます。当道場は令和十八年の秋に設立されました。今年十八年目を迎えます。オホーツク海のほぼ中央部に位置する小さな町の小さな道場です。子供から大人まで、楽しく稽古を行っています。今年もケガ無く楽しく稽古に励みたいと考えています。会員が増えてくれる事を願って頑張ります。



合気道旭川道場 多田 昌弘

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えられたこと、お慶び申し上げます。また、旧年中はひとかたならぬご厚情を頂きありがとうございます。旭川道場では、本年も変わらず武道を通した「繋がり」をテーマとし、合気道の発展に努めて参りたいと思います。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。本年も宜しくお願い申し上げます。



岩見沢合気道会 佐藤 圭史

岩見沢合気道会には当別町出身の会員も多く、昨年より当別町総合体育館での稽古を新設しました。また「とうべつ学園」での合気道授業モデル校採用にともない、北海道医療大学合気道同好会の部活動も含め、当別町での合気道を活発化させています。地方での活力減退や、子どもたちの内向き傾向という問題に、当会の活動を通じて地域社会貢献ができればと思っております。



胆振合気会 広瀬 肇

新年明けましておめでとうございます。昨年中は北海道合気道連盟の皆様に変化、お世話になりました。本年は昨年以上に充実した稽古が出来るように、しっかりと努力してまいります。本年も宜しく申し上げます。



あいきのまなびや 久保田 雅士

新年あけましておめでとうございます。昨年は新会員にも恵まれ、基本をしっかり積み上げる指導の大切さを改めて確認することができました。本年は、日々の稽古に精進するのはもちろんのこと、合気道を広めるために演武の機会も増やしていこうと思っております。今年もよろしくお願いいたします。



合気道室蘭道場 戸田 実

令和六年を迎え、皆様明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。私は現在室蘭道場と室蘭工業大学合気道部の指導を行っており、ともに昭和五十四年に創部され今年で四十五年目となります。私の稽古法は合気道の鍛錬と基本技を中心に行っており、これからも相和し争いのない武道に近づく様、稽古・指導に励んでいきたいと思っております。基本の体捌きと各技の関連性について学んだ事を忘れず、お互い頑張りましょう。



合気道張碓道場 五十嵐 隆行

小樽の地に道場を開設してから七年が経過しました。小さな町道場ですが、地道に稽古を続けて何とかコロナ禍も乗り越えてきました。当道場にとって今年の最大行事は、全日本合気道演武大会に出場することです。北海道合気道連盟団体枠として参加させていただきますので、道場の皆さんとしっかりと準備を行い、この貴重な機会を楽しんで演武していきたいと思っております。



合気道函館道場 及川 善太

道場を立ち上げて四十年、多くの人たちが集まり日本国内そして世界各地に雄飛してまいりました。函館道場は武道に興味のある人なら誰でも参加できます。合気道の稽古は一人では出来ません。一緒に稽古し、思いやりの心を育て身体を鍛えるという創設以来の方針は一切変わっておりません。函館に来られる機会があったらぜひ当道場へお越し下さい。



白滝合気会 棚橋 昌司

この三年間当会は本来の活動をできませんでした。昨年末に白滝中学校の合気道授業を再開することができました。昨年は連盟の総会でお世話になった先生方にお会いできましたが、時間の都合で早々に帰宅しなければなりません。ウイルス感染という試練、さらに「少子高齢」の過疎化の中で、「開祖ゆかりの神社」(上白滝神社)の廃社など問題を残したまま新年を迎えます。唯々、連盟加盟道場の皆さんの「弥栄」を祈念して、新年の抱負とします。



士別合気会 山下 光行

昭和五十七年六月一日、故植芝吉祥丸道主の特段のご配慮により日本最北端の道場として発足以来、関係各位の皆様のご指導により稽古に励んでこられました事に心から感謝申し上げます。
まだまだ合気の勉強が足りませんが、北海道合気道連盟の会長様、はじめ役員の皆様、各道場長の皆様、今後ともご指導鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



札幌国際合気会 二階堂 充

昨年末に、発足三十周年演武会を開催しました。今年も新たな歴史を積み重ねる一年間となりますが、希望としては新入会員が増えること、つまり会員数の拡大が望まれます。合気道は他の武道に比べ、六〇歳を過ぎててもまだまだ現役で稽古を行える武道ですので、この会が、老若男女集いながら稽古を通して合気道の素晴らしさを共有し楽しめる場であることを目指します。



札幌合気道会 石垣 昌志

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は格別のご厚誼を預り誠にありがとうございました。新春にあたり、会員の皆様の合気道に対する情熱を積極的に後押しするためにも、事あるごとに色々なイベントを企画してまいります。通常の稽古以外にも、楽しめる合気道をしてまいります。楽しく稽古に励み、気持ちの良い汗をかき事を一番としてより一層に活気溢れる札幌合気道会である事で、少しでも合気道の普及に寄与出来ればと考えます。今年もご厚誼のほどよろしくお願ひ申し上げます。



釧路合気道同好会 原 佳大

今年度の釧路合気道同好会は、小中高生で二十名一般五名と少しずつ会員が増えています。
令和六年三月に第二回演武会を控えています。それに向けて、日頃の基本の技を稽古していきます。多くの人に合気道のよさを知ってもらえるように、広報活動もしていきます。



江差合気会 出崎 太郎

あけましておめでとうございます。故郷の江差町に畳敷きの運動場が無く、令和元年に空家の店舗付き住宅を一部改装してオープンしたのが江差柳崎道場です。しかし、間もなく新型コロナウイルス禍で、会員募集もままならず、私の不注意から背骨骨盤を痛めてしまいました。指導者が私一人で会員に合気道経験者がいないので、今年、自身のリハビリと、会員獲得に励みます。



北都真武会 本間 雅富

今年の抱負は、経験年数、性別に関係なく、会員一同稽古を楽しみながら、行いたいと思います。また、他団体との交流を今まで以上に、親睦を深めると共に色々な技術を吸収し人間性を高めたいと考えています。



苫小牧合気会天心塾 塾長 市村 一義

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年、新型コロナウイルスが、5類に引き下げられ各界での活動制限が解除されました。苫小牧でも今年からは、講習会、演武会を例年並みの規模で行う予定です。昨年の講習会のテーマは「虚実転換」三段レベルに標準を合わせました。今年のテーマは「居付かない」です。各行事を通し交流する道場・道友が増える事を願っております。



十勝合気会合気道 佐藤 圭

今年も指導陣と協力して新しい会員を歓迎し合気道の楽しさと技術向上のバランスを保ちながら十勝合気会をさらに発展させることを目指します。そして、近年会員参加イベントが減少していたため、充実したイベントを提供し、会員同士のコミュニケーション機会を増やして、より良い十勝合気会の一年にしたいと考えています。



道央合気道会 熊谷 優範

当会は先代会長がご逝去されてから、ご遺言である「皆仲良く」道主の合気道の実践」を中心に「合気道を広く社会に広める」「会員の増強」を行ってまいりました。コロナの影響で著しく会員数は減少しましたが、特に令和六年は子供たちの会員増強と稽古の充実を力点をおきます。一度停止していた指導員育成に伴うスポーツ少年団の認定指導員資格の復活にも力を入れて行きます。



天北合気道場 角谷 篤美

当道場の稽古は、主に故藤田昌武先生の四つの体捌きをメインに地味な稽古を続けている道場です。
今年も変わらずこの稽古を続けていきます。
他道場との交流稽古は、今までも実施して来ましたが、これからも多くの人達との稽古を通し相互の技術向上を図るため、交流稽古の数を増やしたいと考えています。その際には、各道場代表者の方ご協力ご指導をお願いいたします。



千歳合気会 象谷 敏孝

謹賀新年
自分の健康に気を付けながら、道友の皆様と稽古出来ることが何よりの喜びです。
開祖の教えに注意を傾け、師範、先達の教えを汲み取り、基本の技から極意を見出し、どんなことも感謝に変えて毎日楽しく皆様と共に稽古を続けます。

合気神社 例大祭に参加して

合気道函館道場 阿部 ジョスリン

四月二十九日、北海道合気道連盟を代表して、合気神社の例大祭に参加しました。晴天に恵まれたこの日の祭典には、千五百人を超える参拝客や来賓が出席されました。

大祭は午前十一時に始まり、大本教の神職に続いて、植芝守央道主、植芝充央道場長とその御家族が入場されました。神職による神事が行われ、植芝家、合気会、地元の代表者が榊を捧げました。

そして道場長が、次に道主が奉納演武を行いました。神殿の近くに立って演武を見ることができ、私は自分が植芝家の長い系譜に繋がっていると感ずることができました。



参加者にはお弁当とお祝いの饅頭が配られました。合気神社の敷地はとても広く、多くの木々や開けた場所があり、お弁当を開いて楽しい時間を過ごしました。また同じ敷地内には歴史を感じさせる道場がある他、翁



先生が長年住み、修行を積んできた場所を建学する事ができ、感無量でした。

岩間駅前には、合気道開祖である大先生の胸像があります。二〇二三年七月二十四日に新しく設けられたものです。駅から神社に向かつて歩くと、翁先生の写真が飾られた五つの石碑があり、開祖の道文を読むことができます。また、境内には植芝盛平翁の大きな銅像があります。合気道を日々、稽古する我々にとって、岩間がいかに重要な場所であるか、忘れることはできません。また、全国から集まった合気道家たちと一日を過ごす事が出来た事は私にとって素晴らしい機会となりました。

第60回全日本合気道演武大会参加しての感想

室蘭道場 戸田 実

令和五年六月二十七日(土)午前十二時より、日本武道館で開催された「第六十回全日本合気道演武大会」に、北海道合気道連盟の代表として「室蘭道場」会員十四名で参加させて頂きました。ありがとうございました。大会前日は、横浜で友人が代表をつとめる道場で二時間稽古をし、本番に向けて準備をしました。その後、友人達と交流会を開き夕食をしながら、親睦をめました。友人とはコロナ禍で三年間位会っていなかった為、話が弾みました合気道の話でアツと言うまに夜中になっていきました。



大会当日は、日本武道館に朝十時頃に全員が集合しました。東京にいる友人達が早々に席を確保しておいてくれました。感謝しております。室蘭道場はプログラム第一部の三十九番で青の演武場で演武する事になっていました。プログラム三十二番目の所で二階席からアリーナに移動し整列し出場を待ちました。次々と順番がせまって出場となりました。掲示板は、北海道合気道連盟しか出てなく「室蘭道場」がなかったのてちょっと寂しい思いをしました。しかし出場者は全員元気に楽しく演武を行ってくれました。短い演武時間でした。大成功の内に終了した。その後ゆっくり、各道場長、本部師範の演武を拝見しました。大変勉強に成りました。

演武に出場したメンバーです。

- ・ 小玉 茂義 ・ 佐々木務行
- ・ 矢場 勉 ・ 矢場 巴
- ・ 矢場仁三郎 ・ 久保田雅士
- ・ 尾崎 愛倫 ・ 谷村 幸代
- ・ 和田 尚人 ・ 本吉 裕幸
- ・ 本吉 由海 ・ 矢野間 淳
- ・ 富沢 文晴 ・ 戸田 実

ありがとうございました。

第60回全日本合気道演武大会

地域社会指導者演武

川越 敬子

今度、「第六十回全日本合気道演武大会」で演武する機会を得ました。関係者の皆様、北海道連盟様、そして我が札幌合気道会、また私の演武の受けを快く引き受けてくれた林竜さん、太田祥一さんのお二人にも心から感謝を申し上げます。

二十年前、子供の習い事にと、親子で始めた合気道。

そこで人と出合い、技を学び、悩みもたくさんありましたが、かけがえのない大きな喜びを得ました。



出場を依頼をいただいた時一生の思い出となる大きな喜びを得た反面「失敗はできない、でも新たな技に挑戦したい」との思いが湧いてきました。

受けを担当してくれた林竜さん(貳段 四十四歳、合気道十年目)、そして太田祥一さん(初段四十一歳、合気道八年目)は、当会の中堅の会員です。約十年前、私も先輩の受け役でこの大会に出場しました。その経験をもとに、私も彼らに成長する機会を与えられたら、と考えたのです。しかし実際は、練習を重ねるにつれ、私を成長させ、チャレンジする気概を与えてくれたのは彼らの方でした。私の思いを「受け」止め、彼らの思いが「技」を磨き、より難易度の高い技へ導いてくれました。その過程で、自らの「取り」をも高める様を私に見せてくれたのです。「受け」は「砥石」であると以前、聞いたことがあります。

その言葉通り、彼らは「取り」である私を研ぎ上げ、私たち「受け」と「取り」が一体となる「私たちの演武」にまで高めることができましたのです。

演武を終えた時、私たちはみんな満面の笑顔でした。受けと取りがお互いを高め合つてこそ、技は完成するのでしょうか。

合気道の「稽古とこころ」、人と人のつながりの真髄はここにあると思います。演武を通じ、互いに語り合い、高め合うこと、これからも挑戦し続け、また一歩高めへ近づけるよう精進したいと思います。

第60回全日本合気道演武大会に参加して

若手指導者演武

道央合気道会 林幸恵

この度、令和五年五月二十七日(土)第六十回全日本演武大会に北海道の若年層指導者として演武に参加させていただきました。

約一万四千人を収容できる会場がほぼ満席状態の中で演武をすることとなり、演武直前に地下二階の演武待機場所に入ることができ非常に緊張を致しました。

受けは、大学生(山田琉斗 貳段)と女



子高校生(村山優空 初段)の二名にお願いしました。

次は自分の番というところで、周りの空気に圧倒されて、少したじろいでいた所を、若手二人に励まされる形となりました。

「林先生が私達を引っ張って行ってくださいと困ります！」と言われ、私としては情けない話ですが、若い受け二人も成長しているのだなと感じた瞬間でした。

若手二人に鼓舞される形となり、北海道を代表して出場するからには中途半端なことはできないと腹をくくることができ、演武に臨むことができました。

受けをとってくれた琉斗くん、優空さん、ありがとうございます。

演武後は、私以上に受けの二人が演武に参加できたことに感銘を受けており、今後より一層稽古に励もうと感じたようです。また日頃から指導していただいている熊谷会長には白帯の時から四段になった今も指導をいただいています。最近では、指導師範として尾崎会長にも指導していただき、お二人にも大変感謝をしております。私も若手の育成と北海道合気道連盟の発展、合気会の発展のために少しでも尽力できるように頑張ります。

北海道合気道連盟から推薦をしていただき、このような貴重な経験ができたことは、今後合気道を続けていく上で忘れられないものとなりました。

ありがとうございます。

令和五年度 北海道小中学生合気道強化練習会

子どもたちの交流と上達を図る北海道小中学生合気道強化練習会が、北海道スポーツ協会主催、北海道合気道連盟主管で、六月二十五日に札幌市の北海道立総合



子どもたちの交流と上達を図る北海道小中学生合気道強化練習会が、北海道スポーツ協会主催、北海道合気道連盟主管で、六月二十五日に札幌市の北海道立総合

体育センター（北海きたえーる）で開催されました。連盟として小中学生を対象にした強化練習会を行うのは初めてのことで、七つの道場（合気道神武練成塾札幌教室、合気道函館道場、合気道張碓道場、岩見沢合気道会、札幌合気道会、道央合気道会、苫小牧合気会）天心塾から六十四名の小中学生が参加しました。

プログラムは阿部ジョスリン理事（合気道函館道場）による英語でのリズム体操から始まり、子どもたちは目を丸くしながらのスタートでしたが、身振り手振りで身体を動かし始め、互いに教え合う交流が生まれてにぎやかに進みました。その後、佐藤まゆみ理事（札幌合気道会）による舟漕ぎ運動、五十嵐隆行事務局長（合気道張碓道場）による準備体操と全体稽古、芳賀信治評議員（合気道神武練成塾札幌教室）と林幸恵監事（道央合気道会）も加わってのグループ分け稽古と進み、佐藤圭史理事長（岩見沢合気道会）による隅落としゲームで大いに盛り上がり、前半を終えました。

休憩をはさんで後半は発表会で、七つの道場がそれぞれ準備して来た演武を、緊張と誇りが入り混じる様子で披露しました。会場にはたくさんの父兄も参観に来場し、二時間に及んだ初の試みは超満員の大盛況でした。練習会の舞台裏では各道場の指導員のみならず、多大な協力も得て、合気道の普及に新たな道筋を見出す清々しいイベントでした。

（合気道張碓道場 油谷弘洋）

令和五年度 秋期講習会

十月二十一日（土）と二十二日（日）の二日間に亘り、令和五年度秋期講習会（北海道合気道連盟主催）が開催されました。前日の雨天から一転し、両日も天候に恵まれました。参加者は全道各地から百八十名が千歳市開基記念総合武道館に参集し、稽古に励みました。講習会の講師として、合気会本部道場師範・伊藤眞六段が招かれました。同師範は、北海道大学合気道部で副部長を務め、札幌に住まわれたこともあり、北海道とは縁の深い師範です。伊藤師範は、注意すべき点として主に四点ほど説明・実演しました。

まず、頭・胸・腰などの各部位の連動を意識することです。体が変わることにより、各部位がばらばらにならないようにしなくてはならないということです。次に、左から右へ、上から下への転換をスムーズに行うことです。



現するためにも、たとえば左から右に体が変わるときに、流れが切れるような動作は避けなくてはなりません。そして、投げる方向を広い視野で見ることです。特に避けたいのは、受けに視点と注意があつまることです。その場合、視点だけでなく、体そのものが固まり、伸びのある投げの阻害要因となってしまう。最後に、稽古を行う上での注意点となりますが、体を大きく使う練習をとり入れることです。体を大きく使う練習をしつつ、あわせて、それをコンパクトに表現することも重要となります。他方で、コンパクトのみを追求してしまうと、大きな伸びのある動きの体現が難しくなってしまう。上記以外にも、伊藤師範は多くのことを説明されました。受けとして師範と触れ合うことができた参加者も多く、秋の季節にあった、実り多い講習会となりました。

（岩見沢合気道会 佐藤圭史）

第三十回秋の演武大会

第三十回北海道合気道演武大会（北海道合気道連盟主催）が、十月二十二日午後一時より、千歳市開基記念総合武道館で開催されました。気持ち良い秋晴れの下、四年ぶりに感染症対策等の制限のない中で、加盟二十一団体から二百名の演武者、多くの観客の参加を得ることができました。出崎太郎北海道合気道連盟副会長の主催者挨拶、伊藤眞本部道場指導部師範の祝辞に引き続き、第一部、第二部と約一時間三十分の大会になりました。



今回の演武大会は、各道場の指導者による自由演武が十二演武、将来を担う若手による若手演武が四演武、子どもや初心者から有段者までが同時に技を行う道場演武が十六演武、大学生による学生演武が三演武、延べ三十五演武のプログラムで構成されました。

自由演武では、基本技から応用技、座り技や半身半立ち、太刀や杖を使った武器取りまで、合気道の多種多様な技が行われました。技の奥深さやぶつからない柔らかかな動き、気迫ある技など、合気道の魅力が十分に伝わるものでした。また、あの指導者に習ってみたい、一緒に稽古をしたいと思わせる演武ばかりでした。若手演武と学生演武は、将来が楽しみな若々しい洗練とした演武になりました。特に学生演武では、コロナ禍で大学のサークル活動が制限を受け、部員数が著しく減った中においても、学生は頑張っているぞ、とその心意気を示す演武でした。道場演武は、元氣いっばいな子供たちによる日々の稽古が伝わる演武や、老若男女が一緒に和気あいあいと体と心の鍛錬を続ける様子がわかる演武でした。

最後は、伊藤眞師範による演武で締めくくられました。伊藤師範には、大会前日と当日午前の二日間に渡り、講習会のご指導をいただきました。演武では、その時の内容を再現するかなのような技の数々をご披露いただきました。

（合気道釧路道場 日高哲一）

第11回全国指導者研修会

札幌合気道会 佐藤 まゆみ

研修場所、千葉県勝浦の日中は夏日のような暑さの中、合気道指導者と学校教員により十一月三日から五日に学校における合気道指導の充実のための研修会に参加させていただきました。

本部道場長による講義と実技に始まり、連盟代表者との基本技の稽古は暑さ



と気合いのためか想像以上の汗となりました。学校授業における指導を金沢師範より、外部指導者として学校教員の授業をサポートするための手順、内容の実技がありました。学校授業に大切な礼法、構え、体捌き、後ろ受身、角落としを指導の順にそつて体験しました。道場において指導との違いは、投げけるのではなく受け身を自ら安全に取らせるということ。そして、相手の力を互いに感じ受け身へ繋げる、技を覚えるのではなく技を考え完成させる、そのためのコミュニケーション力を養うことが、社会性を育てるということになりました。模擬授業の時は、勝手に身体が反応してしまい戸惑いの中、未経験の教員の方々が丁寧に技を完成させていく姿に感じました。連盟代表者による意見交換では、学校授業導入について各地の事例報告や要望など、また自分たちが何をすべきかをグループごと話し合い発表しました。北海道からは、とうべつ学園が授業モデルとなり、地元である佐藤理事長他数名が対応する旨を報告させていただきました。本部道場へは、授業導入に向けて文科省へさらに働きかけてほしいとの要望もありました。私たち、稽古するものは合気道がどういふものか、このような研修を行なっていることなど学校関係にアピールできればとの思いを抱え研修を終了いたしました。

尾崎会長にはたくさんの方々をご紹介いただき、また細やかに御礼の賜り心より御礼申し上げます。

公益財団法人合気会認定道衣

百年の伝統
株式会社 岩田商会

TEL: 03-3209-6888
MAIL: iwataco@m13.alpha-net.ne.jp



ONLINESHOP



公益財団法人合気会
公認道衣 販売開始決定!



シメントの案内

東海堂 SHOP 水道橋店

〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-11 岡野ビル
TEL: 03-5840-8030 FAX: 03-5840-8033
営業時間: 10:00 ~ 19:00 定休日: 年末年始・夏季

東海堂 SHOP 博多店

〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 6-18
神屋ビル101号
TEL: 092-263-6891 FAX: 092-263-6892

東海堂 SHOP 名古屋店

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1-16-26
貴久ビル603号室
TEL: 052-937-2560 FAX: 052-937-2561

東海堂 SHOP 難波店

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-22
新川清水ビル2F
TEL: 06-6633-3277 FAX: 06-6633-3278

横浜営業所

〒231-0028 神奈川県横浜市中区翁町 2-8-6
第二東里ビル214号室
TEL: 045-305-6923 FAX: 045-345-5589

※ 大会等の催事出店の為、臨時休業となる場合があります。

東海堂

<https://www.tokaido.tokyo>

絶賛更新中!



セーフティガード警備株式会社
SAFETY SECURITY



本社札幌 / 東京支社 / 神奈川支社
旭川営業所 / 福岡営業所
ホームページ 電話番号 011-727-3929

交通誘導警備・施設警備・身辺警備・貴重品運搬輸送警備 警備員募集中!!



DESIGN
IN PERSPECTIVE

多様なメディアの時代、「視点」を持ったクリエイティブを。

- 低予算動画ソリューション
- CMSウェブサイト制作
- デジタルカタログ制作
- イラスト・アートワーク
- 各種印刷・サイン・ラッピング



株式会社 第一プリンティング

〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2 TEL.03-3822-7531 FAX.03-3822-0304 <http://www.daiichiprinting.co.jp>

(有)国際企画センターは(公財)合気会主催の

「全日本合気道演武大会」「国際合気道大会」の記録映像販売をお手伝いしています。

在庫

全日本合気道演武大会

第48回大会～第59回大会

国際合気道大会(IAF)記録映像

第11回～第12回

★ご用命は下記までどうぞ!

〒143-0024 東京都大田区中央 5-18-1

(有)国際企画センター

電話 03-3755-1258

E-mail: ozakisho1818@gmail.com